

異所性妊娠患者における発熱の評価に関する検討

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023年 3月 2日 ～ 2024年 3月 31日

〔研究課題〕 異所性妊娠患者における発熱の評価に関する検討

〔研究目的〕

COVID-19 流行下では発熱の評価は感染制御の重要な指標ですが、異所性妊娠は正常妊娠に比して体温に関する詳細な検討は皆無です。異所性妊娠はホルモンの影響により体温が高くなることが推定されます。緊急手術となることが多い為、異所性妊娠患者の患者背景毎に体温がどのように変動するかを解析することを目的とします。

〔研究意義〕

それぞれの異所性妊娠を呈した患者背景毎の体温に関する検討を行うことで、COVID-19 などのその他の発熱因子が存在する可能性の抽出の助けとなり、感染制御の一役となることを期待しています。

〔対象・研究方法〕

最初に COVID-19 流行下である 2020 年 4 月から 2022 年 6 月までに緊急手術を要した異所性妊娠手術 44 例と、婦人科緊急手術患者 39 例に対して発熱の検討を行います。その上で後方視的に診療録にて来院時体温を確認できた 2009 年から 2022 年 6 月までに異所性妊娠の診断となった 259 例を対象とし、年齢、経産、異所性妊娠部位、血中 hCG 値、妊娠週数、クラミジア感染の有無、性器出血の程度、腹腔内出血の有無と発熱の関係を検討します。解析は χ^2 検定・wilcoxon 検定を用い、 $p < 0.05$ を有意とします。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんが特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。また、研究終了後にデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて 10 年保管後に廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：馬場 聡 職名 帝京大学ちば総合医療センター産婦人科・助教
所属：帝京大学ちば総合医療センター
住所：市原市姉崎 3426-3 TEL：0436-62-1211 (代表) [内線 5108]